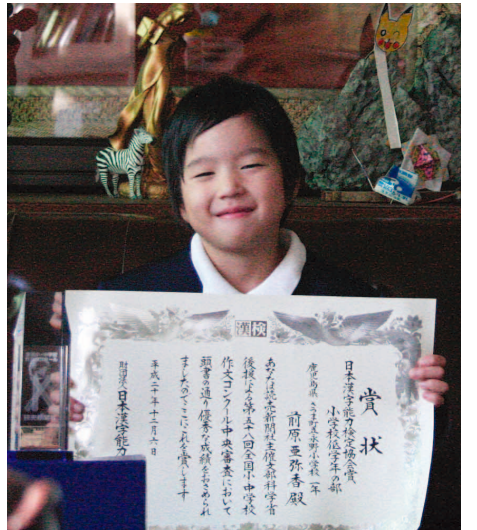




この中央審査の小学校低学年の部で前原さんの作文は「日本漢字能力検定協会賞」に輝きました。作文は、泳ぐことが苦手だった

全国作文コンクールで入賞 前原亜弥香さん・永野小1年

第58回全国小・中学校作文コンクールの中央審査に、県審査会で県知事賞を受賞した、永野小学校1年の前原亜弥香さんの作文「めだかのねんせい」が、鹿児島県の代表として、出品されました。

児童・園児らウナギとフナを放流

永野小・柏原小・錦光保育園

永野小学校の児童20人が11月20日、永野の穴川でウナギの放流を行いました。また、25日には、柏原小学校の児童36人が、ホテル橋近くの夜星川でフナの放



人形に色付けをする宮之城人形復興会

奥ゆかしい古風なお顔 天神さんに鯛抱き

宮之城人形の色付けが12月9日から宮之城歴史資料センターで始まりまし

宮之城人形の製作に取り組むのは、宮之城人形愛好家14人で構成する宮之城人形復興会です。2月7日に催される宮之城初市での販売に向けて、製作に取り組んでいます。

宮之城人形は、粘土を型に入れて素焼きをし、色づけした土人形で、初市では「天神さん」や「鯛抱き」など、4種類130体が展示即売されます。

この地方では、初節句を迎える子どもたちに、その健やかな成長を願って土人形を贈る習慣があり、宮之城人形は、縁起物として人気があります。



バナナの叩き売りの様子

農水産物ずらり 第2回市場まつり

第2回市場まつりが12月7日、さつま町公設地方卸売市場で開催され、500人を超える来場者が訪れました。

会場では、地元農産物の模擬セリやバナナの叩き売り、川内川で獲れた川エビのから揚げ試食販売や水産物の販売、まぐろのびんた料理無料配布、商工会商品券や農水産物の当たる抽選会が行われました。

新鮮な地元の野菜や水産物の消費拡大につながる良い機会となり、多くの方が、両手いっぱい買い求めていました。

まだまだ元気。競技白熱 町いきいきシルバースポーツ大会



男性が背負ったカゴに女性がボールを投げ入れる競技

町高齢者クラブ連合会主催のさつま町いきいきシルバースポーツ大会が11月11日、宮之城総合体育館で開催されました。

大会には、町内の老人クラブ30チーム約700人が参加し、輪投げなど5種目に多くの生き物が生息していることを実感してもらいたいと毎年実施しているものです。



放流を体験する柏原小学校の子どもたち

準優勝は終野、3位は時吉4位は湯田チームでした。また、この4チームは、12月5日の川薩地区いきいきシルバースポーツ大会に出場し、終野チームが見事優勝しました。

の競技が行なわれました。特にゲートボールは、白熱した競技が行なわれ、応援も盛り上がりました。昼食時間には旭、紫尾保育園児によるマーチングや和太鼓のアトクションもあり、かわいらしい姿に大きな拍手が送られました。



大喜びの人形劇「泣いた赤おに」

絵話や人形劇に大喜び すぎのこ巡回劇場

劇団すぎのこによる人形劇が12月5日、鶴田中央公民館で上演され、およそ150人の親子が、絵話「あめかいゆうれい」と、人形劇「泣いた赤おに」を楽しみました。

今まで見たことのない絵話に接し、また、普段は絵本などでは触れることのない「泣いた赤おに」を人形劇で見ることができ、子どもたちは大喜びで会場を後にしていました。

新ごぼう団地化 柏原地区 3・5ha

さつま農協ごぼう部会大園米満部会長ほか22人では、これまで分散していた圃場を、小路下手地区の水田に、3・5畓の団地化が図られました。7人の栽培農家は、香りが良く、春の訪れを伝える「さつま町特産の新ごぼう」の生産に取り組んでいます。

水田での団地化は、生育管理の平準化や溜水による土壌消毒、9月の播種期の発芽促進対策として、水路の灌水利用が図られるなど多くの利点があります。新ごぼうは、町の重点品目にも指定され、今後の産地拡大が期待されます。



団地化された新ごぼう



収穫を祝いハサミを入れる生産者

大玉金柑鈴なり ハウス金柑ハサミ入れ式

さつま農協ハウス金柑部会（福岡美治郎会長ほか23人）による平成20年産ハウス金柑ハサミ入れ式が12月9日、鶴田地区の中村純一さんの園で開催され、生産者らは、鮮やかに色づいた実を収穫しました。

収穫は3月まで続き、東京や名古屋など大都市圏の市場に出荷されます。今年は、生産者の努力により摘果が徹底されたことから、玉肥大も良く、糖度の高い金柑に仕上がっています。

さつま農協ハウス金柑部会全体では、出荷量55トンで販売額4千125万円が見込まれています。



宝くじ助成事業で整備された久富木区グラウンド

久富木区グラウンド整備 コミュニティ助成事業

これまで久富木区グラウンドは排水が悪かったため、少量の雨でも利用ができなくなり、公民会活動などにも支障をきたしていました。そのため、平成20年度のコミュニティ助成事業（宝くじ助成事業）でグラウンドの排水整備を行いました。今後は、さらに公民館交流を主体としたグリーンツーリズムなどの活性化が期待されます。

◆お詫びと訂正
広報11月号の22・23ページに記載しました小学校陸上記録会の結果の記事で、「800m走5年生男子12分45秒0猪野司（登進小）」は「800m走5年生男子12分45秒0」（大会新記録猪野司（登進小）」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。